

平成13年5月14日

No.16

トヨタ、新型イプサムを発売

トヨタ自動車㈱は、イプサムをフルモデルチェンジし、本日より全国のトヨペット店（大阪地区は大阪トヨタ）ならびにトヨタビスタ店を通じて発売した。

新型イプサムは、「ミニバン、トゥモロー。」をテーマに、パッケージ、ユーティリティ、デザイン、走りの全てを次世代型に進化させ、ミニバンの将来像を提示する新型車である。

具体的には、「広い室内・取り回しの良さ・優れた積載性を高次元で融合させたパッケージ」、「ダイナミックな新世代ミニバンフォルム」、「上級セダンに匹敵する操縦性・走行安定性、パワフルな走り」を実現している。

1. パッケージ、ユーティリティ

プラットフォームを開発し、3ナンバーサイズのゆとりの室内空間と最小回転半径5.5mの取り回しの良さを両立させるとともに、サードシート後方床下に独自の大容量スーパー・ラゲージボックスを設定したほか、多彩なシートアレンジを実現するなど快適性、機能性に優れた新パッケージを提示

2. デザイン

ダイナミックなシルエット、力強く張りのあるドア造形が特徴的な新世代のミニバンフォルムを創出

3. 走り

軽量・高剛性ボディ、新設計のサスペンションおよびミニバン初のH™-TEMSの採用や高性能2.4ℓ VVT-i^{*1}付エンジンの搭載により、上級セダンに匹敵する操縦性・走行安定性とパワフルな走りを追求するとともに、防振サブフレームの採用などにより、優れた静粛性を実現

また、全車、良-低排出ガスレベルのローエミッションを達成し、主要な車両で平成22年燃費基準を先行してクリアしたほか、ミニバンとしては初めてSRS^{*2}カーテンシールドエアバッグ&サイドエアバッグを設定し、最新の衝突安全ボディGOA^{*3}とするなど、高い安全性を確保

* 1 VVT-i : Variable Valve Timing-intelligent (連続可変バルブタイミング機構)

* 2 SRS : Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)

* 3 GOA : Global Outstanding Assessment (世界トップレベルの安全性評価)



イプサム 240i [TA-ACM21W-ARSEK]

【車両概要】

1. ゆとりの室内空間を実現させたパッケージと独自のスペースユーティリティ

ゆとりを持ってくつろげる室内空間と取り回しの良さを両立。さらに大型床下収納スペース、多彩なシートアレンジなど充実した機能装備を採用

- ①全長を120mm、ホイールベースを90mm延長したほか、全幅は65mm、全高を40mm拡大することで各席ともゆとりの室内スペースを実現しながらも、最小回転半径は従来型と同等の5.5mとし、取り回しの良さを実現
- ②スペアタイヤの収納スペースをサードシートの床下からフロントシートの床下に変更するとともに、メインマフラーの取付け位置を工夫することによりサードシート後方床下収納スペースとして、大容量132ℓ（FF車[VDA法]）のスーパー・ラゲージボックスを実現

[車両寸法 等 <FF車>]

単位：mm、（）は従来型との差

	イプサム 240 i
全長	4,650 (+120)
全幅	1,760 (+65)
全高	1,660 (+40)
室内長	2,755 (+190)
室内幅	1,505 (+70)
室内高	1,250 (+30)
ホイールベース	2,825 (+90)
フロントシートヒップポイント地上高	670 (+10)
最小回転半径（m）	5.5 (±0)
床下収納スペース(ℓ) [VDA法]	132

- ③フロントシートは、45mm調整可能な上下リフター（運転席）や角度調整機能付アームレストを採用したほか、運転席と助手席の間にカップホルダー付格納式センター・テーブルを設定（240eを除く全車）するとともに240u “G Selection”には6ウェイパワーシート（運転席）を標準装備
- ④セカンドシートは、7人乗りに、6:4分割、315mmの左右独立ロングスライド機構に加え、ダブルフォールディング機構を採用し、広大な荷室を実現するとともに、中央部にカップホルダー付アームレストを採用
一方6人乗りには、アームレスト付のキャプテンシートを採用したほか、315mmのロングスライド機構に加え、カップホルダー付シートバックテーブルを採用
- ⑤サードシートは、4段階のリクライニング調整が可能な左右分割可倒シートを採用し、シートバックを前に倒すと同時にクッションが沈み込みフラットな荷室を実現するチルトダウン機構の採用により大きな荷物の積載にも対応
- ⑥視認性が良く高級感あるオプティトロンメーターを設定（240s、240uに標準装備）
- ⑦センタークラスター上部や下部、ラゲージボックスなど各所に十分な収納スペースを確保

2. かたまり感を追求した先進的なデザイン

力強く、張りのあるドア造形が特徴的な新世代ミニバンフォルムとクラスを超えた質感を追求

(1) エクステリア

- ①フロントフェンダーとキャビンが一体化したワンモーションフォルムと、大きく弧を描くルーフラインにより力強く、かたまり感のある伸びやかなシルエットを創出
- ②フロントは、特徴的な異形4灯ヘッドライトとメッキ処理を施したラジエーターグリルにより個性を演出
- ③サイドは、フロントピラーからルーフへと勢いよく流れるラインと力強く張りのあるドア造形によりダイナミック感と力強さを強調
- ④リヤは、ヘッドライトと同一のアイデンティティとしたリヤコンビネーションランプ、存在感のあるバンパーにより上質感を表現

⑤ 240sは、専用の大型バンパー、ラジエーターグリル、16インチアルミホイールなどにより、スポーティなイメージを演出

(2)インテリア

- ①インストルメントパネルからサードシートに至る豊かなトリム造形に連続感をもたせ伸びやかさを表現するとともに、天井はシンプルな形状で広がり感を演出するなど、くつろぎの快適空間を追求
- ②インストルメントパネルはタイトなかたまり感のある立体構成で上質感を表現するとともに、金属調と木目調のパネルをコンビネーションしたセンタークラスターにクロームメッキの部品を配し高級感を演出
- ③豊かなサイズのシートにより、座り心地を追求

3. 新世代ミニバンにふさわしい優れた基本性能

新開発のプラットフォーム、新設計のサスペンション、高性能2.4ℓエンジンなどにより、優れた操縦性・走行安定性、パワフルな走りを追求

(1)高い操縦性・走行安定性と優れた静粛性

- ①プラットフォームを新開発し、軽量、高剛性ボディを採用するとともに、フロントサスペンションには、マクファーソンストラット式独立懸架、リヤには、トーションビーム式を採用し、上級セダンに匹敵する操縦性・走行安定性を実現。さらに、240s、240uには、最新の減衰力制御であるH°制御と仮想ロールダンパー制御を用いた電子制御サスペンション、H°-TEMSを新採用し、ソフトな乗り心地と安定した姿勢を保ち、操る楽しさを追求
- ②4WD車には、アクティブルトルクコントロール4WDシステムを採用。リヤディファレンシャルに電子制御カップリングを搭載し、各種センサーからの入力信号により、一般路走行では、燃費の良いFFと同等の駆動力配分とし、雪道など滑りやすい路面では前後輪に最適な駆動力配分とすることで、優れた操縦性・走行安定性を実現
- ③防振サブフレームや高剛性ボディの採用、制振・遮音材の効果的配置、エンジンへのバランスシャフト採用などにより優れた静粛性を実現

(2)優れた走行性能

- ①BEAMS* 2AZ-FEエンジン（直列4気筒2.4ℓ VVT-i付）
 - VVT-iに加え、ロングポートインタークマニホールドやデュアルエキゾーストマニホールドの採用により、実用域での走りを重視しつつ、低速から高速まで全域で高トルクを確保し、軽量・高剛性ボディとあいまって、パワフルな走りを実現
 - アルミ製シリンダーブロック、マグネシウム製シリンダーヘッドカバー、樹脂製インタークマニホールドの採用による軽量化および各部の低フリクション化、さらに軽量・高剛性ボディの採用により10・15モード走行燃費でクラストップの12.0km/ℓ（FF車、車両重量1,510kg以下）を実現
- ②オートマチックトランスミッションは、Super ECTを搭載し、高効率トルクコンバーター、フレックスロックアップシステムとフレキシブルで高レスポンスな制御システムの採用により、低燃費と滑らかで応答性の良い走りを実現
- ③ステアリングから手を離さずにシフト操作が可能なステアシフトマチックを採用し、スポーティなドライビングを実現（240s、240uに標準装備）

* BEAMS : Breakthrough Engine with Advanced Mechanism System
(先進機構を備えた画期的エンジン)

[エンジン主要諸元]

	排気量 (cc)	最高出力 (kW/rpm)	最大トルク (N·m/rpm)	10・15モード走行燃費 (km/ℓ)	
2AZ-FE	2,362	118 (160PS)/5,600	221 (22.5kg·m)/4,000	F F	12.0*
				4 WD	11.0

* 車両重量が1,520kg以上の場合は11.4km/ℓ

4. 安全性・環境への配慮・ITS装備

予防安全、衝突安全の両面からクラストップレベルの高い安全性を追求する一方、優れた低燃費や排出ガスのクリーン化、リサイクルなど環境に多面的に配慮

(1) 予防安全

- ①高いアイポイントによる良好な視界を確保するとともに、優れた操縦性・走行安定性により高いレベルの危険回避運動性能を確保
- ②障害物回避のための急激なハンドル操作時や滑りやすい路面での旋回時の横滑りを抑制する画期的な車両安定性制御システムVSC*を4WD車に設定
 - * VSC : Vehicle Stability Control (車両安定性制御システム)
- ③積載状態の変化や減速による荷重変化に応じて適切に前後輪の制動力配分を行うことにより優れたブレーキ性能を確保するEBD*付ABSやブレーキペダルを踏み込む速度と踏み込む量から、コンピューターがドライバーの緊急制動の意志をくみ取り、制動力を高めるブレーキアシストを全車に標準装備
 - * EBD : Electronic Brake force Distribution (電子制動力配分制御)
- ④鏡面上に付着する水滴を膜状化することで視認性を確保するとともに、光触媒効果により有機物を分解し表面の汚れを防止するレインクリアリングミラーを全車に標準装備。さらに、ガラス面に付着した水滴を小さな水玉状にすることで雨天時の視認性を確保する撥水機能付フロントドアガラスもあわせて全車に標準装備
- ⑤ハロゲンランプの約2倍の光量と伸びと広がりのある配光により視認性を高めるディスチャージヘッドライトを標準装着（除く240e）

(2) 衝突安全

- ①40%ラップオフセット前面衝突試験を64km/h、フルラップ前面衝突試験および側面衝突試験を55km/hで実施し、進化した衝突安全ボディGOAを採用
- ②運転席・助手席にSRSエアバッグやプリテンショナー&フォースリミッター付シートベルトならびに点滅式シートベルト非着用警告灯を全車に標準装備。さらに前席SRSカーテンシールドエアバッグ＆サイドエアバッグを全車に設定（240u “G Selection” に標準装備）
- ③ピラーやルーフサイドレールの内装材に、衝撃を吸収するリブを内蔵することにより、米国の頭部衝撃緩和基準レベルの性能を確保した構造のインテリアを採用
- ④後方から低速で追突された時に乗員の首への衝撃を緩和するWIL*コンセプトを取り入れたシート構造をフロントシートに採用
 - * WIL : Whiplash Injury Lessening (頸部傷害低減)
- ⑤セカンドシートの左右席にはISO FIX*に対応したチャイルドシート固定専用バーを標準装備
 - * ISO FIX : 誤使用防止、車両適合性向上、取り付け方法の国際的な統一を目的としたISO(国際標準化機構)規格のチャイルドシート固定方式

(3) 環境への多面的配慮

- ①CO₂削減を念頭に、クラストップの低燃費12.0km/ℓ(10・15モード走行、FF車、車両重量1,510kg以下)を実現。さらに主要な車両で平成22年燃費基準も達成
- ②全車HCとNOxにおいて低排出ガス車認定制度における「平成12年基準排出ガス25%低減レベル」を達成
- ③リサイクル性に優れた熱可塑性樹脂トヨタスーパーオレフィンポリマー(TSOP)を前後バンパー、インストルメントパネル、ピラーガーニッシュなど内外装部品に積極的に採用
- ④ラジエーター、ヒーターコア、ワイヤハーネスの被覆材などを鉛フリーとし、車両全体の鉛使用量を2005年末までに1/3以下('96年比)に低減するという業界自主目標を早期に達成

(4) ITS 装備

- ①ステアリングセンサーからの信号を用いて後退時の予想進路を計算し、モニター画面上に表示するとともに、縦列駐車時には音声ガイドにより後退運転を支援する音声ガイダンス機能付バックガイドモニター（カラータイプ）を設定。さらに左右前方から接近する車両や人などをモニターに表示するブラインドコーナーモニターを設定
- ②ワイドマルチAVステーションは、DVDボイスナビゲーションの採用により、複数目的地の設定やリアル市街図表示などの多彩なナビゲーション機能を装備しVICS*、FM多重機能を内蔵（全車に設定）

* VICS : Vehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム)

- ③自動料金収受システムETC*に対応したビルトインタイプの車載機を設定（販売店装着オプション）

* ETC : Electronic Toll Collection System (有料道路自動料金収受システム)

【ウェルキャブ（メーカー完成特装車）】

(1) ウェルキャブ助手席リフトアップシート車（“Aタイプ”、“Bタイプ”）

- ・高齢者や身体の不自由な方が乗降しやすい助手席リフトアップシート車を設定（“Aタイプ”、“Bタイプ”）
- ・ラゲージスペースへの車いすの積み下ろしが容易にできる電動式の車いす収納装置を“Bタイプ”に標準装備

(2) ウェルキャブフレンドマチック取付用専用車

- ・下肢障害者が手だけで運転できるように操舵力を約40%軽減した専用パワーステアリングなどを標準装備した特装用車両（運転補助装置は専門メーカーにて取付）を一部グレードに設定

【販売概要】

1. 販売店 全国のトヨペット店（大阪地区は大阪トヨタ）ならびにトヨタビスタ店
2. 月販目標台数 合計 5,000台
3. 店頭発表 5月19日（土）、20日（日）

【メーカー希望小売価格】

（消費税は含まず、単位：千円）

グレード	定員	エンジン	駆動	トランスミッション	価格 ^①
240 e	7人	2AZ-FE (2.4ℓ)	2WD ^③ (FF)	Super ECT	2,040
240 i					2,170
240 s					2,380
240 u					2,440
“G Selection”					2,590

◎ : 掲載写真

Super ECT : スーパーインテリジェント4速オートマチック

* 1 北海道は45千円高、沖縄は30千円高。

* 2 7人乗りは同額。

* 3 4WD車は240千円高。

【ウェルキャブ メーカー希望小売価格】

《助手席リフトアップシート車 “Aタイプ”^①》

（消費税は非課税^②、単位：千円）

ベース車	定員	エンジン	駆動	トランスミッション	価格 ^③
240 i	7人	2AZ-FE (2.4ℓ)	2WD ^⑤ (FF)	Super ECT	2,518
240 u					2,788

《フレンドマチック取付用専用車》

ベース車	定員	エンジン	駆動	トランスミッション	価格 ^③
240 i	7人	2AZ-FE (2.4ℓ)	2WD ^⑤ (FF)	Super ECT	2,213
240 u					2,483

* 1 “Bタイプ”は101千円高。

* 2 フレンンドマチック取付用専用車は車両購入時に指定補助装置を取り付けた場合のみ、消費税は非課税。

* 3 北海道は助手席リフトアップシート車が44千円高、フレンドマチック取付用専用車が45千円高、沖縄は30千円高。

* 4 7人乗りは同額。

* 5 4WD車は240千円高。

以上